

第43回大学図書館問題研究会全国大会

第8分科会

学習のハブとしての大学図書館

ラーニング・コモンズとは

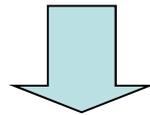
- 主として学生を対象とし，学習支援のための設備・施設，人的サービス，資料を総合的にワンストップで提供する学習支援空間
- 1990年代より北米の大学図書館で，インフォメーション・コモンズが普及し，その後，ラーニング・コモンズへと変容

ラーニング・コモンズにおける学習支援

- 主として学生を対象とし，学習支援のための設備・施設，人的サービス，資料を**総合的にワンストップ**で提供する学習支援空間

大学図書館における学習支援

- 大学図書館はそもそも、学習支援をその役割のひとつとする機関
 - 図書や雑誌などの学習メディアの提供
 - 学習場所の提供
 - レファレンスサービス
 - 情報リテラシー講習会



大学内で学習支援を行っているのは図書館だけではない。

大学における学習支援

- 学習メディア・場の提供 → 図書館
- ICT活用サポート → 情報処理センター
- キャリア支援サービス → キャリア支援部門
- 補習支援サービス → 補習支援部門
- ……など, 多様

サービスを提供する側の視点でつくられたしくみ

「総合的にワンストップで」

- これまで大学内の別々の場所で提供されていた学習支援サービスを「一箇所で、一度に」提供する
- どの学習支援サービスを「総合的にワンストップで」提供するかは、それぞれの大学のミッションや特色による
- 提供者中心 → 享受者中心

「非図書館中心」

- 従来図書館が提供してきた範囲をこえた学習支援サービスの提供
- ラーニング・コモنزの設置場所
 - 大学図書館
- 大学図書館にラーニング・コモنزが設置される理由
 - 中立であること
 - 学習メディアを提供していること

ラーニング・コモンズの人的資源

ラーニング・コモンズを実現するための人的資源

- 他部署（教員を含む）との連携・協働
- 学生アシスタントの活用

学習のハブ

- ハブ(hub)とは？
 - 本来は、車輪やプロペラの中心部
 - 活動の中心地や拠点
- 大学図書館の役割
 - 大学における学習のハブ

境界線の溶解

- サービスの提供者と利用者の二元論からの脱却
- 情報リテラシー教育

全国大会の分科会構成

- 利用者支援A: 学生との協働: 学生に視点
- 利用者支援B: 学生との協働: 図書館に視点
- 学習のハブとしての大学図書館: 教員との連携

大阪大学の事例

学習支援における大学図書館と教員の連携

- 堀一成先生(全学教育推進機構)
- 赤井規晃さん(附属図書館)